

# 浮世絵最強列伝

サンタフェ リーダーズ コレクション

サンタフェ リーダーズコレクション「浮世絵最強列伝—江戸の名品勢ぞろい—」  
相国寺承天閣美術館

前期: 7月3日(火)—8月5日(日)

後期: 8月8日(水)—9月30日(日)

主催: 相国寺承天閣美術館、日本経済新聞社、京都新聞

後援: 米国大使館

協力: 日本航空、MBS

絵師名	作品名	判型・様式	年代	前期	後期
<b>第1章 江戸浮世絵の誕生 — 初期浮世絵版画</b>					
1 菱川師宣	衝立のかけ	横大判墨摺筆彩	延宝後期～天和期(1679～84)頃	●	
2 菱川師宣	低唱の後	横大判墨摺筆彩	延宝後期～天和期(1679～84)頃		●
3 無款(杉村治兵衛)	一の谷合戦の平敦盛	大大判墨摺絵二枚続の左 彩筆	貞享～元禄(1684～1700)		●
4 無款(鳥居清信力)	松本兵蔵の廣若衆と中村伝九郎の奴	大大判墨摺絵	元禄12～13年(1699～1700)頃	●	
5 無款(鳥居清信力)	市川役者の鬼打豆	大大判丹絵	宝永末～正徳期(1709～15)頃		●
6 無款(鳥居清信力)	「油やおそめ哥さいもん」お染久松心中	大大判丹絵	宝永7年～享保元年(1710～16)頃	●	
7 懐月堂度辰	遊女立姿図	大大判丹絵	正徳期(1711～16)頃		●
8 田村吉信	「周の菊児童」	細判漆絵	享保14年(1729)頃	●	
9 無款(奥村政信力)	「けいせいなよせ」回り灯籠を見る遊女と禿	大大判丹絵	正徳5年～享保5年(1715～20)頃力	●	
10 奥村政信	尾上菊五郎の文を持つ若衆	幅広柱絵判紅絵	寛保2年～寛延3年(1742～50)	●	●
11 西村重長	「三幅対ひよくの三曲」	細判紅摺絵三丁掛	延享3年(1746)頃	●	
12 鳥居清広	蛸狩り	細判紅摺絵	宝暦期(1751～64)		●
13 鳥居清満	二代目瀬川菊之丞の八百屋お七	柱絵判紅摺絵	宝暦11年～明和4(1761～67)年	●	
<b>第2章 錦絵の創生と展開</b>					
14 無款(小松軒力)	やつし雲の絶間姫	中判錦絵	明和元～2年(1764～65)頃		●
15 無款(鈴木春信)	やつし孫康	中判錦絵	明和2年(1765)	●	
16 鈴木春信	お百度参り	中判錦絵	明和2年(1765)		●
17 鈴木春信	やつし通小町	中判錦絵	明和4年(1767)頃	●	
18 鈴木春信	「風流江戸八景 両国橋夕照」	中判錦絵	明和5年(1768)頃		●
19 鈴木春信	「風俗四季哥仙 神楽月」	中判錦絵	明和5年(1768)頃	●	
20 鈴木春信	雪を見ながら三味線をひく遊女	中判錦絵	明和5～6年(1768～69)頃		●
21 無款(鈴木春信)	鶯娘	中判錦絵	明和3～4年(1766～67)頃		●
22 鈴木春信	見立業平東下り	中判錦絵	明和4～5年(1767～68)頃	●	
23 春重(司馬江漢)	禿の雪まろげ	中判錦絵	明和7年(1770)頃	●	
24 磯田湖龍斎	「雛形若菜の初模様 中近江屋内半太夫」	大判錦絵	安永5年(1776)頃		●
25 磯田湖龍斎	「雛形若菜の初模様 丁子屋内ひな鶴」	大判錦絵	安永9～10年(1780～81)頃	●	
26 一筆斎文調	二代目市川高麗蔵の雁金文七と嵐音八あんばいよし六兵衛	中判錦絵	明和5年(1768)		●
27 一筆斎文調	二代目市川雷蔵の若侍	細判錦絵	明和7年(1770)頃	●	
28 勝川春章	二代目中村助五郎の又野五郎	細判錦絵	明和7年(1770)	●	
29 勝川春章	四代目市川団十郎の旅の僧	細判錦絵	明和7年(1770)頃	●	
30 勝川春章	五代目市川団十郎の悪僧	細判錦絵	明和8年(1771)頃		●
31 勝川春章	初代中村富十郎の夫婦饅頭売	細判錦絵	安永6年(1777)	●	
32 勝川春章	九代目市川羽左衛門の暫	細判錦絵	安永7～8年(1778～1789)		●
33 勝川春章	「東扇」二代目山下金作	借間判錦絵	安永5～6年(1776～77)		●
34 勝川春章	坂東三津五郎	間判錦絵	安永9年～天明元年(1780～81)頃	●	
35 勝川春好	勢見山・越ノ戸 行司岩井嘉七	大判錦絵	寛政元年(1789)頃		●
36 鳥居清長	「浅草金龍山八境」柳屋	中判錦絵	天明2年(1782)頃		●
37 鳥居清長	三囲の夕立	大判錦絵三枚続	天明7年(1787)頃	●	
38 勝川春潮	「江戸八景 吉原」	中判錦絵	天明7年～寛政2年(1787～90)頃		●
<b>第3章 黄金期の名品</b>					
39 喜多川歌麿	二代目山下金作の小きん	細判錦絵	寛政7年(1795)		●
40 喜多川歌麿	「歌撰恋之部 物思恋」	大判錦絵	寛政5～6年(1793～94)頃	●	
41 喜多川歌麿	「名所腰掛八景」すだれ	大判錦絵	寛政7～8年(1795～96)頃		●
42 喜多川歌麿	「松葉楼 中川 哥川 松風」	大判錦絵三枚続	寛政9年(1797)頃		●
43 喜多川歌麿	「風流七小町 関寺」	大判錦絵	享和3年(1803)頃	●	
44 喜多川歌麿	女行列川渡	大判錦絵三枚続	文化元年(1804)頃		●
45 鳥文斎栄之	「風流五節句」重陽	大判錦絵	寛政5～6年(1793～94)頃		●
46 鳥高斎栄昌	「当世美人合 小きん」	大判錦絵	寛政8～10年(1796～98)頃	●	
47 勝川春英	「とら屋虎丸」嵐龍蔵	細判錦絵	寛政2年(1790)頃		●
48 勝川春英	三代目沢村宗十郎の大岸蔵人	大判錦絵	寛政6年(1794)	●	
49 東洲斎写楽	初代大谷徳次の奴袖助	大判錦絵	寛政6年(1794)		●
50 東洲斎写楽	三代目市川八百蔵の田辺文蔵	大判錦絵	寛政6年(1794)	●	
51 東洲斎写楽	中島和右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の船宿かな川やの権	大判錦絵	寛政6年(1794)	●	
52 歌川豊国	「風流女末広」	大判錦絵	寛政元～2年(1789～90)頃		●
53 歌川豊国	「役者舞台之姿絵 あかしや」	大判錦絵	寛政8年(1796)	●	
54 歌川豊国	「役者舞台之姿絵 きのくにや」	大判錦絵	寛政6年(1794)		●
55 歌川国政	二代目中村仲蔵の松王丸	大判錦絵	寛政8年(1796)		●
56 歌川国政	岩井桑三郎の桜丸女房八重	大判錦絵	寛政8年(1796)	●	
<b>第4章 精緻な摺物の流行とその他の諸相</b>					
57 窪俊満	「浅草側 いせ物語 俊満製 九段」	色紙判摺物	文化9年(1812)		●
58 葛飾北斎	「のろま狂言 たぬきつか」	小判摺物	享和2～4年(1802～04)頃	●	
59 葛飾北斎	「四性ノ内 藤 干珠満珠 藤巻鎌」	色紙判摺物	文政5年(1822)頃		●
60 葛飾北斎	「馬尽 馬のす」	色紙判摺物	文政5年(1822)	●	
61 葛飾北斎	「馬尽 駒下駄」	色紙判摺物	文政5年(1822)		●
62 葛飾北斎	「七里ヶ浜ヨリ腰越ヲ眺望」	色紙判摺物	文政4年(1821)力	●	
63 岳亭	「本町連十番つゞき」円窓の紅梅・物思う美人	色紙判摺物	文政3年(1820)頃		●
64 岳亭	「本町連十番つゞき」万歳	色紙判摺物	文政3年(1820)頃	●	
65 岳亭	「龍虎二番」	色紙判摺物二枚続	文政5～7年(1822～24)頃		●
66 岳亭	「葛飾連顔面婦人合 正行母」	色紙判摺物	文政5～7年(1822～24)頃	●	
67 岳亭	「傾城見立列仙伝 七番の内 王喬」	色紙判摺物	文政7年(1824)頃		●
68 岳亭	「傾城見立列仙伝 七番の内 琴高」	色紙判摺物	文政7年(1824)頃	●	
69 魚屋北溪	「五色番続扇流し」白梅	色紙判摺物	文化8～9年(1825～26)頃		●
70 魚屋北溪	「尚歯会番続 牡丹花肖相」	色紙判摺物	文政4～6年(1821～23)頃	●	
71 魚屋北溪	「尚歯会番続 俊成」	色紙判摺物	文政4～6年(1821～23)頃		●
72 魚屋北溪	「尚歯会番続 小野道風」	色紙判摺物	文政4～6年(1821～23)頃	●	
73 魚屋北溪	金太郎の猪退治	色紙判摺物	文政10年(1827)		●
74 魚屋北溪	「春ノ山又 其一・其二」	大短冊判二枚続	文政11～13年(1828～30)頃		●
75 魚屋北溪	長生殿	大短冊判	天保2年(1831)		●
76 魚屋北溪	「劉邦斬白蛇」	色紙判摺物	天保3年(1832)	●	
77 魚屋北溪	扇から立ち昇る龍	色紙判摺物	天保3年(1832)		●

絵師名	作品名	判型・様式	年代	前期	後期
78 溪斎英泉	新春の辰巳芸者たち	色紙判摺物二枚続	天保元～3年(1830～32)頃	●	
79 昇亭北寿	「勢州二見ヶ浦」	横大判錦絵	文化元～6年(1804～09)頃		●
80 魚屋北溪	「諸国名所 相州箱根閣」	横大短冊判錦絵	天保4年(1833)頃	●	
81 二代葛飾載斗	(猿橋月夜図)	大判錦絵	天保5年(1834)頃		●
82 菊川英山	「風流夕涼三美人」	大判錦絵三枚続	文化12～14年(1815～17)頃	●	
83 菊川英山	「東すかた源じ合 紅葉賀」	大判錦絵	文政3年(1820)頃		●
84 溪斎英泉	「江戸金龍山浅草寺観音境内図」	横大判錦絵	天保期(1830～44)	●	
85 溪斎英泉	「日光山名所之内 素麺之滝」	大判錦絵	天保14年～弘化3年(1843～46)頃		●
86 春好齋北洲	三代目中村歌右衛門の加藤正清	大判錦絵	文政3年(1820)	●	
87 歌川貞升	二代目中村芝翫の犬山道節	大判錦絵	天保4～9年(1833～38)頃	●	
88 歌川貞広	三代目尾上菊五郎の幽霊薄雲	大判錦絵	天保12年(1841)		●

### 第5章 北斎の錦絵世界

89 葛飾北斎	「風流なくてなぐせ」遠眼鏡	大判錦絵	享和年間(1801～04)		●
90 葛飾北斎	「鶴 白粉花」	中判錦絵	天保5年(1834)頃	●	
91 葛飾北斎	「富嶽三十六景 凱風快晴」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃		●
92 葛飾北斎	「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃	●	
93 葛飾北斎	「富嶽三十六景 山下白雨」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃		●
94 葛飾北斎	「富嶽三十六景 甲州石班沢」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃	●	
95 葛飾北斎	「富嶽三十六景 遠江山中」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃		●
96 葛飾北斎	「富嶽三十六景 常州牛堀」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃	●	
97 葛飾北斎	「富嶽三十六景 駿州江尻」	横大判錦絵	天保2年(1831)頃	●	
98 葛飾北斎	「富嶽三十六景 隅田川関屋の里」	横大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃		●
99 葛飾北斎	「富嶽三十六景 礪川雪ノ巨」	横大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃		●
100 葛飾北斎	「富嶽三十六景 甲州三坂水面」	横大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃	●	
101 葛飾北斎	「富嶽三十六景 東海道程ヶ谷」	横大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃		●
102 葛飾北斎	「富嶽三十六景 江戸日本橋」	横大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃	●	
103 葛飾北斎	「富嶽三十六景 諸人登山」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
104 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 飛越の塚つりはし」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
105 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
106 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はきはし」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
107 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 ちぢぜんふくの橋」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
108 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
109 葛飾北斎	「諸国名橋奇覧 かめめど天神たいこぼし」	横大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
110 葛飾北斎	「諸国瀧廻り 木曾海道 小野ノ瀑布」	大判錦絵	天保4年(1833)頃	●	
111 葛飾北斎	「諸国瀧廻り 和州吉野 義経馬洗滝」	大判錦絵	天保4年(1833)頃		●
112 葛飾北斎	「諸国瀧廻り 東海道坂ノ下 清滝くわんおん」	大判錦絵	天保4年(1833)頃	●	
113 葛飾北斎	「雪花月 吉野」	横大判錦絵	天保4年(1833)頃		●
114 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 融大臣」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
115 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 雪中人馬」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
116 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 李白」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
117 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 木賊茹」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
118 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 在原業平」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃	●	
119 葛飾北斎	「詩哥写真鏡 清少納言」	長大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃		●
120 葛飾北斎	「百人一首うはかゑとき 源宗于朝臣」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃	●	
121 葛飾北斎	「百人一首乳母か絵とき 参議董」	横大判錦絵	天保6年(1835)頃		●
122 葛飾北斎	「鬼児嶋弥太郎 西法院赤坊主」	大判錦絵	天保4～6年(1833～35)頃	●	

### 第6章 幕末歌川派の隆盛

123 歌川国貞	「役者はんじ物」四代目瀬川路考	大判錦絵	文化9年(1812)		●
124 歌川国貞	「当世三十式相りこう相」	大判錦絵	文政4～5年(1821～22)頃	●	
125 歌川国貞	「江戸八景 花やしき 秋月」	大判錦絵三枚続	文政6～8年(1823～25)頃		●
126 歌川国貞	「風俗三人生酔」	団扇絵判錦絵	天保元～3年(1830～32)頃	●	
127 歌川国貞	お歯黒をつける女	団扇絵判錦絵	天保元～3年(1830～32)頃		●
128 歌川国貞	羽子板 五代目市川海老蔵の曾我五郎	色紙判摺物	天保4年(1833)頃	●	
129 三代歌川豊国(歌川国貞)	小柳常吉、秀の山雷五郎、荒馬吉五郎	横大判錦絵六枚続	天保15年(1844)頃		●
130 三代歌川豊国(歌川国貞)	「今様見立士農工商 職人」	大判錦絵三枚続	安政4年(1857)	●	
131 三代歌川豊国(歌川国貞)	「今様見立士農工商 商人」	大判錦絵三枚続	安政4年(1857)		●
132 三代歌川豊国(歌川国貞)	「市川海老蔵 武蔵坊弁慶 寿海老人白猿」	大判錦絵	万延元年(1860)	●	
133 歌川国芳	「風俗女水滸伝 百八番之内」林冲	色紙判摺物	文政11年(1828)頃		●
134 歌川国芳	「摂州大物浦平家怨霊顕るゝ図」	大判錦絵三枚続	天保13年(1842)頃	●	
135 歌川国芳	「龜喜妙々」	大判錦絵三枚続	嘉永元年(1848)		●
136 歌川広重	鴛鴦	大短冊判錦絵	天保3～6年(1832～35)頃	●	
137 歌川広重	「牡丹花富貴者也」牡丹に孔雀	大短冊判錦絵	天保3年(1832)頃		●
138 歌川広重	太蘭に白鷺	中短冊判錦絵	天保3～6年(1832～35)頃	●	
139 歌川広重	「東海道五拾三次之内 沼津 黄昏図」	横大判錦絵	天保5～6年(1834～35)頃	●	
140 歌川広重	「東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪」	横大判錦絵	天保5～6年(1834～35)頃		●
141 歌川広重	「東海道五拾三次之内 浜松 冬枯ノ図」	横大判錦絵	天保5～6年(1834～35)頃	●	
142 歌川広重	「東海道五拾三次之内 御旅 旅人留女」	横大判錦絵	天保5～6年(1834～35)頃		●
143 歌川広重	「東海道五拾三次之内 赤坂 旅舎招婦ノ図」	横大判錦絵	天保5～6年(1834～35)頃	●	
144 歌川広重	「東海道五拾三次之内 庄野 白雨」	横大判錦絵	天保7年(1836)頃	●	
145 歌川広重	「東海道五拾三次之内 亀山 雪晴」	横大判錦絵	天保7年(1836)頃		●
146 歌川広重	「京都名所之内 嶋原出口之柳」	横大判錦絵	天保5年(1834)頃	●	
147 歌川広重	「近江八景之内 堅田落雁」	横大判錦絵	天保5年(1834)頃		●
148 歌川広重	「木曾海道六拾九次之内 四十六 中津川」	横大判錦絵	天保8～9年(1837～38)頃	●	
149 歌川広重	「木曾海道六拾九次之内 四拾七 大井」	横大判錦絵	天保8～9年(1837～38)頃		●
150 歌川広重	「木曾海道六拾九次之内 五拾八 垂井」	横大判錦絵	天保11～12年(1840～41)頃	●	
151 歌川広重	「東都名所 浅草金龍山年ノ市」	横大判錦絵	天保11～13年(1840～42)頃		●
152 歌川広重	「六十余州名所図会 出雲 大社ほとほとの図」	大判錦絵	嘉永6年(1853)	●	
153 歌川広重	「六十余州名所図会 阿波 鳴門の風波」	大判錦絵	安政2年(1855)		●
154 歌川広重	「名所江戸百景 目黒 太鼓橋夕日の岡」	大判錦絵	安政4年(1857)		●
155 歌川広重	「名所江戸百景 上野山内月のまつ」	大判錦絵	安政4年(1857)	●	
156 歌川広重	「名所江戸百景 月の岬」	大判錦絵	安政4年(1857)		●
157 歌川広重	「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」	大判錦絵	安政4年(1857)		●
158 歌川広重	「名所江戸百景 真崎辺より水神の森内川関屋の里を見る図」	大判錦絵	安政4年(1857)	●	
159 歌川広重	「名所江戸百景 王子装束ゑの木大晦日の狐火」	大判錦絵	安政4年(1857)		●
160 歌川広重	「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」	大判錦絵	安政4年(1857)	●	
161 歌川広重	「名所江戸百景 京橋竹がし」	大判錦絵	安政4年(1857)		●
162 歌川広重	「名所江戸百景 両国花火」	大判錦絵	安政5年(1858)	●	
163 三代歌川豊国(国貞)・歌川広重	「風流源氏つくだ」	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)	●	
164 二代歌川広重	「諸国名所百景 周防岩国錦帯橋」	大判錦絵	安政6年(1859)		●
165 二代歌川広重	「諸国名所百景 佐渡金山奥穴の図」	大判錦絵	安政6年(1859)	●	
166 二代歌川広重	「諸国名所百景 対州海岸」	大判錦絵	万延元年(1860)		●